



全労連 憲法闘争ニュース 速報版

<http://www.zenroren.gr.jp/> TEL 03-5842-5610 FAX 03-5842-5620 No.26

戦争法案の強行採決に断固抗議する

大阪労連 「戦争法案」の強行採決に断固抗議する！

必ず廃案にするためにあらゆる知恵と力の総結集を(声明)

「(数の力で採決を強行した) 蛮行に対し、大阪労連は、満身の怒りを込めて断固抗議するとともに、必ず廃案にするために総力をあげてたたかう」と表明。「そもそも、政府は憲法を擁護する義務があり、憲法違反の法律や行為は無効だというのが日本国憲法の規定である」と指摘し、「国民の過半数が『憲法に違反している』と判断しているもとの、政府が強行に採決する行為さえ、絶対に許されない」と批判しました。そして「いまこそ安倍内閣打倒への運動に総力をあげる」と決意をのべるとともに、全構成員に総決起することを呼びかけました。

福祉保育労 福祉労働者は戦争法案の強行採決に断固抗議し、撤回を求めます(談話)

「『平和こそ最大の福祉』を掲げてきた福祉保育労は、民主主義を根底から覆して平和を脅かす暴挙に対して断固抗議し、即時撤回を求める」と澤村直書記長名の談話を発表しました。「戦争は人間の命と尊厳を奪うものであり、福祉の破壊そのもの」と指摘し、「福祉とは対極にある戦争には絶対に反対する立場で、多くの福祉関係者・国民とともに安倍政権の暴挙を阻止するために、これからも全力をあげる」決意を表明しました。

全労連・全国一般 衆議院での「戦争法案」強行採決に強く抗議し、必ず廃案を求め、安倍政権に即時退陣を求める

「国民の命をないがしろにする安倍政権を絶対に許さず、平然と強行採決に応じた国会議員たちに怒りを持って抗議」し、すべての職場、組合員に「戦争法案」廃案と安倍政権退陣のための行動を呼びかけました。

生協労連 戦争法案の強行採決に満身の怒りをもって抗議し、即時廃案と安倍政権の即時退陣を求めます

戦争法案の即時廃案と安倍政権の即時退陣を求める中執声明を発表。「憲法を守り、民主主義を守る立場から、生協理事会、生協組合員、そして同じ思いを持つすべての国民・諸団体と手をとりあって、廃案まで全力でたたかう」決意を表明しました。そして、生協で働く全国のなかまのみなさんに、「平和とよりよい生活のために」と高らかに掲げた日本生協連の創立宣言スローガンに立ち返り、一人ひとりが「戦争反対」「平和を壊すな」と声に出していこうと呼びかけました。

強行採決糾弾 戦争法案NO！ 全国各地で宣伝を

◆憲法共同センターが衆院での強行採決に抗議する宣伝チラシとスポット(例)を作成しました。全国各地で音を出して宣伝を行いましょ。たたかいはこれからです。

ダウンロード 憲法共同センターHP <http://www.kyodo-center.jp/?cat=12>

◆全労連は、7月末の発送予定で宣伝チラシを作成中です。

単産・地方

【JMIU長野地本】 職場決議を首相官邸に送付

安倍自公政権が衆議院本会議で戦争法案の採決を強行した16日、カネテック支部は、就業直後に戦争法案に抗議する「抗議集会」を開催しました。緊急の招集にもかかわらず、大多数の組合員が参加し、「職場決議」を確認、首相官邸に送付しました。

集会では、斉京長野地本委員長が、「アベ政治を許さない」と「まず、総理から前線へ。」のポスターを掲げ連帯のあいさつをしました。

【全教】 手渡すのは「平和広げる国」 「戦争する国」許さない 34000人賛同

全教、教組共闘連絡会、全国高校組織懇談会は16日、参院議員会館で記者会見し、「戦争する国」づくりを許さない全国教職員投票に、33,891人から寄せられていると発表しました。

6月下旬から全国教職員投票を実施。『戦争する国』ではなく憲法9条をいかし『平和を広げる国』を私は子どもたちに手渡したいに、「そう思う」「いいね」の場合は丸をつけます。一言欄には切実な声がつづられています。

投票のとりくみは、全国の学校職場で一気に広がっています。

~~~~~寄せられた一言メッセージ~~~~~

○トラブルが起こったら、暴力ではなく話し合いを！常々子どもたちに話していることです。戦争は絶対にだめ！

○子供たちに胸を張って歴史を語れる国でありたいと思います。

○愛する子どもたちのために、今おとなにできることを考えたいです。

○平和な世の中にするために自分に何ができるか…と考えて教員になりました。子どもたちに平和な世界を。

○巣立っていく子供たちが誰かに銃を向ける日のことを想像したくもありません。

○私も平和な日本で育ちましたが、子どもたちにもそうあってほしいです。

○子どもたちに未来は明るいと自信を持って伝えたいです。

○戦争は絶対にしない国、その日本を次世代に送るぞ！

○世界に幸せな子どもが一人でも増えることを願います。

○教師として、親として、人間として、戦争に子どもたちを送らないことは学校という職場での共通認識です。

○子どもたちが笑顔で安心して暮らせる平和な世界のために、私たちは子どもを教育しています。

【京都総評】

国民の声を無視した委員会強行採決に抗議し 法案阻止へ向けて世論を圧倒的に広げよう

15日各地域・分野で緊急抗議宣伝が行われる

京都憲法共同センターでは、法案の委員会採決に反対し、烏丸御池で午後6時から緊急の宣伝抗議行動を呼びかけ、労組・団体から約70名が参加し、祇園祭の人通りの中、安倍内閣のなりふり構わぬ強硬姿勢にストップをかけようと、スタンディングアピールを行いました。また、西大路七条でも約30名が宣伝・アピールを行いました。



各地域で抗議行動が取り組まれ、西院では民医連と民医労や自治労連などがそれぞれ宣伝を行いました。同時間には「京都の女性の会」が三条大橋の宣伝を呼びかけ、100名近くが参加し、浴衣を着たり、プラカードをかかげたり、思い思いにアピールしました。

戦争法案 NO! 行動予定

※主催団体名のないものは総がかり行動実行委員会主催です。

21日(火)

◆毎週火曜日いっせい宣伝行動 全国各地

*憲法共同センターは、都内8カ所

新宿東口・巣鴨駅・四谷駅・上野マルイ前・御茶ノ水駅の5カ所は、18時～19時

茗荷谷駅(12時半～13:15)・西新橋1丁目交差点(17時半～18:15)・大塚駅(12時半～13時)

22日(水)

主催：国民大運動実行委員会など3団体

◆定例国会行動 12:15～13時 衆院第2議員会館前

23日(木)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側

24日(金)

★中央行動 主催：春闘共闘・全労連

12:15～ 決起集会(日比谷野音)

13:15～ 厚労省前・人事院前 要求行動

14:30～ 国会請願デモ

15:30～ 議員要請(戦争法案・派遣法)など

↓ ↓ ↓

★安倍政権 NO! 0724大行動 主催：安倍政権NO! ☆実行委員会

18:30～19:30 日比谷野音集会

19:00～21:00 官邸包囲・官邸抗議

26日(日)

◆戦争法案廃案！国会包囲行動 14時～15時半 国会周辺

28日(火)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！7・28大集会・国会請願デモ

*集会=18時半～ 日比谷野音

*集会と並行して国会請願デモ=18時45分出發

30日(木)

◆戦争法案廃案！強行採決反対！第10回国会前木曜連続行動 衆院第2議員会館前 18時半～19時半

*全労連など憲法共同センターは参院議員会館側